

ふくいきらめきフェスティバル2018

手をつなごう！ともに担って明るい未来を
平成30年6月23日(土) 永平寺緑の村にて開催

ともに担うアナタの心に届けたい！伝え方のキホン

かがやく女性

第45号

題字
福井県知事 西川一誠
発行者
(公財)ふくい女性財団
〒918-8135
福井市下六条町14-1
ユー・アイふくい
(福井県生活学習館2階)



講師

音声表現コンサルタント・ナレーター

松本 和也氏

元NHKアナウンサーで、福井放送局にも在籍経験がある松本和也さんから、人間関係を円滑に、相手が共感する伝え方のキホンについてお話いただきました。

【お久しぶりです！】

私はNHK入局5年目の平成7年から平成11年まで福井放送局に赴任していました。福井を離れ19年が経ちます。体調を崩しこれからの人生を考えた時、人生100年時代でまだ時間があると思ひ、平成27年6月に退社し翌月会社を立ち上げました。

【福井で覚えてたうまく話す雰囲気づくり】

私はNHKを記念受験で受けて合格したため、入局当時はすごく悩みました。話し方をいろいろ試行錯誤していたところ、当時の上司から「格好良く話そうと思わずに普段どおりに話せばいい」とアドバイスを

受け、自然体でアナウンスしてみました。視聴者からクレームがあればこの話し方をやめるつもりでしたが、逆に喜んでもらえたことで自信につながりました。

ある全国中継では、他県の局は経験豊富な先輩アナウンサーが担当しているのに対し、福井局は若手の私が担当することになりました。最初は楽に考えていましたが、だんだん緊張し、冒頭から内容をド忘れしてしまいました。しかし、大切な事を最低限伝えれば良いと開き直り、忘れたら相手に聞いて内容を思い出そうよう進行了ました。この失敗後の全国中継では、自分からリラックスし、全体の大まかな流れをつかんで司会進行できたことが、後に東京へ転勤するきっかけになりました。

東京転勤後に担当した番組で、京都の清水寺で外国人への通訳を経験しました。頼りない通訳になってしまいました。分らないことは繰り返し聞き、誠実に伝えようとしたところ好評でした。当時番組で共演していた、バックン（パトリック・ハーランさん）にもアドバイスを受け、分かなければ一生懸命に伝えれば良いと実感しました。

ただひたむきに伝える。自分に多くを期待せず、相手に短い時間で丁寧に伝える。このコツは福井で学びました。

【伝え方のキホン】

●相手の話に共感を

相手が話したい、相手が話を聞いてあげたい状態にするために、まずは相手の話に関心することが大切です。家庭でも話を聞いて欲しい相手に聞いてもらう雰囲気を作ることや、相手の気持ちを推し量ることも大切です。

●上がっているのが面白い

緊張して上がってしまう時は「下手でごめんね」とつぶやいてみましょう。自分に期待せずいい加減になることでリラックスして話せます。

●結論や要件はざっくり、細かいことは後で

多くの女性は細かいことを先に話した後で結論を話す傾向があるため、夫婦間で話の食い違いが生まれやすいです。話を聞いている人は相手の細かい話を一生懸命に聞こうとして疲れてしまいます。ビジネスでも同じように、質問に答えていく形でコンパクトに話しましょう。

●うまい話し方

聞いている人を植木鉢だと考え、じょうろで水を与えるように、情報を少しずつ伝えましょう。相手が理解しやすいよう、ゆっくりと短く丁寧に話すことを意識するだけでも上達します。

平成30年度福井県男女共同参画社会づくり 功労者知事表彰受賞者

個人

瞿曇 隆子 様(敦賀市) 齋藤 啓子 様(鯖江市)
高田 訓子 様(福井市) 三田村 壽恵 様(南越前町)

団体

越前市武生南地区男女共同参画推進員会
「通称：いっしょの会」





ふくいきらめきフェスティバル2018



ワークショップ あなたらしく自分らしく、 みんなで考える「共家事・共育児」



講師は自身の体験をふまえながら、「ママからパパへの伝え方」などについて、「日頃の夫婦の相互理解やちょっとした心遣いが共家事・共育児につながります！」と軽妙で熱心に語ってくださいました。

ワークショップ あなたらしく自分らしく、 みんなで考える「性の多様性」



ELLY福井+仁愛大学生による運営で行われました。性の多様性に関する基本的なお話、県内企業の取り組み報告のあと、「当事者の生きにくさ」について議論が行われました。

法話 共に進もう！ ～禅の心から読み解く男女共同参画～



「修證義」から「男女論ずることなかれ」という一語を紹介し、終始穏やかな口調でわたしたちの正しい生き方について諭されました。

手をつないで仲良し撮影会



今回の撮影を担当したEitoMarsさんご夫妻の丁寧でびったりな対応で、参加者皆さんの素敵な笑顔でいっぱいになりました。写真は後日お届けしました。

チャレンジ！チョークアート



クレヨンに似たオイルパステルを使い色を混ぜ合わせ、色に深みのあるチョークアートの作品を作成しました。ちいさな子どもから大人まで楽しみながら集中して作成しました。

永く使える革で作ろうポケットティッシュケース



革でポケットティッシュのカバーを作りました。木槌で穴をあける音がリズムカルに聞こえる中、受講者同士で話に花を咲かせて、笑いながら楽しい雰囲気の中作りしました。

シンギングボウルと癒しのヨガ体験



四季の森文化館にある、旧傘松閣の間で寝ころび、絵天井を目前にしてシンギングボウルの音色を聴きながらのヨガ体験は神秘的なひと時でした。終わってからの皆さんの顔は生まれたばかりの赤ちゃんのようでした。

見て聞いて食べて歩いて癒される永平寺門前まちあるき



精進料理のランチをいただいた後、門前ガイドの第一人者である中村さんに大本山永平寺とその周辺の門前を案内してもらいました。見どころ満載で充実したまちあるきでした。

企画委員長より



西委員長（前列左から3番目）

皆様方には大変お世話になりました。たくさんの方々にご参加頂き有難うございました。満足していただけましたでしょうか？今後、男女共同参画社会が発展し共に幸せな社会となるよう願っております。



龍童太鼓のオープニングは迫力のある演奏でした！



ガールスカウトのみなさんもテレビPRにご協力いただきました。



南部比登美と仲間たちによる福井国体応援ダンスソング「君は最高に輝くように」斉唱



“はびりゅう”と“えい坊くん”の夢のコラボレーション！

ふくい女性活躍支援センターは、就職相談・職業相談、キャリア相談、保育所・子育て相談に応じています。

例えば・・・

- 求人に応募したいので、紹介状がほしい。
- 自分がどんな仕事に向いているか知りたい。
- 履歴書、職務経歴書を作りたいが、何を書いているかわからない。
- 今の仕事を続けていくことに不安がある。
- 幼稚園・保育園・認定こども園の入園の仕方、特徴など情報がほしい。
- 子育て支援についての情報がほしい。 など

お問い合わせ

☎0776-41-4244 9:00~16:45

来所時は事前にご連絡ください。

休日▶毎週月曜日、第3日曜日、国民の祝日の翌日、
年末年始（12/28～1/4）

場所▶福井県生活学習館（ユニー・アイふくい）2階

セミナーレポート

当センターでは、出産、育児、介護などで離職した女性が、再就職する際に必要な知識や情報を学んでスムーズに職場復帰できるように、セミナーや企業面接会を開催しています。

この秋お子さんの入園申し込みを控え、来春の就職を目指している方を対象に、9/4、5「ふくい女性活躍推進企業による企業面接会 来春の就職を応援します」を開催しました。福井市職員から保育園等への申し込み方法、福井佼成幼稚園 大柳世津子先生から仕事と子育ての両立のコツについてのお話を聞いた後、実際に働いている参加企業の同年代の女性と交流し、参加企業の担当者と面接を行いました。



平成30年度ふくい女性財団 役員名簿

職名	氏名	現職名
理事長	子末とし子	福井県漁協女性部連合協議会長
副理事長	田村 洋子	福井県連合婦人会長
	進藤久美子	(株)ネスティ専務取締役
理事	窪田 裕行	福井県総合政策部ふるさと県民局長
	森近 悦治	福井県生活学習館長
	松田 典子	前 J A 福井県女性組織協議会長
	村中 文子	福井県商工会女性部連合会長
	三田村壽恵	福井県婦人福祉協議会長
	瞿曇 隆子	前(一財)福井県母子寡婦福祉連合会長
	西 芳子	永平寺男女共同参画ネットワーク会長
	芝 美代子	前小浜男女共同参画ネットワーク会長
	三上健太郎	北陸電力(株)福井支店総務部長
	加藤 晶子	元ふくい女性ネットNEXT
専務理事	今富 廣子	元福井県生活学習館長
	木下治太夫	(公財)ふくい女性財団事務局長
監事	重久 博子	元(公財)ふくい女性財団副理事長
	川崎 周市	元(一財)福井県労働者信用基金協会専務理事
評議員	石森 利栄	(株)エイチアンドエフ営業部課長
	加藤まどか	(大)福井県立大学学術教養センター准教授
	小林 順子	小林化工(株)取締役専務執行役員
	北島 三男	前(株)福井新聞社特別論説委員
	澤崎 祥也	日華化学(株)取締役執行役員管理部門長
	樋村 禎子	(公社)福井県看護協会会長
三好 勝	税理士法人三好会計代表社員税理士	

今後の講座予定

※詳細は決まり次第ホームページ等でお知らせします。

- 10/27(土) **新米ババママ応援講座** (小浜会場)
→家事・子育てをテーマにお悩みシェアをします。
調理体験とヨガもします。
- 10/31(日) **キャリアアップ応援講座** (モチベーションアップ)
→仕事の神様が“ひいぎ”したくなる法則を学びます。
- 11/9(金) **女性のための再就職支援セミナー**
2/15(金) →再就職に向けての知識を学びます。
- 11/23(金) **新米ババママ応援講座** (福井会場)
→家族でボードゲームで遊びながら、ゆる家事のヒントをスーパー主婦の皆さんから学びます。
- 11/24(土) **指導者養成講座**
→ワークライフバランスについて考えましょう。
- 12/8(土) **働き女子のホンネ交流会**
→楽しみながら女性どうしてホンネを語ってみませんか。
- 1/19(土) **キャリアアップ応援講座**
→議論や情報をビジュアル化して思考を整理する方法を学びます。
- 2/2(土) **キャリアアップ応援講座** (メイク)
2/22(金)
- 3/1(金) **管理職のための女性人材育成セミナー**
→「子育て・介護」と「仕事」の両立支援について学びます。
- 3月(予定) **カップル応援講座**

いきいきウーマン

小浜市で幅広い世代への食育活動を行う、「グループマイメイド」の皆さんにお話を伺いました。



平成14年に食生活改善推進員の有志によって結成されたグループ。現在42名が活動中。
前列左より大野寿子さん、高井育子さん、仲野光恵さん、後列左から吉村由縁さん、磯野由美子さん、島田栄子さん

活動内容について

○御食国若狭おばま食文化館（以下、食文化館）のキッチンスタジオで、調理体験の指導や小浜の食のふるまいを担当しています。他にも研修では、県外の産地の食を学んだり試作をしたりと日々研鑽しています。

（仲野副会長）

参加したきっかけ

○食生活改善推進員（以下食改）の講習会修了後に会長の呼びかけがあり、関心があったので入会しました。

（吉村）

○先輩の食改さんからの誘いで入会しました。

（磯部）

食育活動を通して良かったこと

○調理体験を通して新たに知らない料理を学べること

です。また、この経験が公民館の料理講習会などで活かせています。

（高井）

○観光で食文化館に来館されるお客様との交流が楽しいです。

（吉村）

○市内はもとより県内外から調理体験のために来館されるいろいろなお客様と出会い、そこで学べたことです。

（大野）

○今までなかった、地域の人のつながりが出来たことです。毎月の調理体験が楽しくて来館する地区の人から、「次はどんな料理を作るの?」と献立を聞かれることもありますよ。

（仲野副会長）

尊敬する人

○キッチンスタジオを担当されていた時岡さん（元食文化館職員）です。このグループマイメイドや濱の四季（市営レストラン）の立ち上げでお世話になりました。私は特に濱の四季の運営で時岡さんと笑ったり泣いたりしたことは良い思い出です。

（島田会長）

○小浜市食改会長（福井県食生活改善推進員協議会会長）の小谷さんです。農業レストランをご自分で立ち上げられてすごいなあ、と思います。

（高井）

これからの抱負

○普段は仕事をしているため、土日をメインに活動しています。これからも少しずつ活動していきたいです。

（磯部）

○若い人に料理を通して小浜のことを知って欲しいです。また、グループマイメイドの先輩が活動できる場を作り、もっと伝承料理を教えてもらい、会として成長したいです。

（島田会長）

○小浜には豊富な食材があり、伝承料理もたくさん残っています。少しでも多くの人に伝承料理や地産地消の良さを伝えていきたいです。

（大野）

小浜の食に対する熱い想いや、人と人のつながりを大切にされる気持ちがありました。グループマイメイドの皆さん、ありがとうございました。

新規加盟団体紹介

今年度より公益社団法人福井県看護協会が加盟団体として加わりました。

公益社団法人福井県看護協会は、県内に在住または勤務する保健師、助産師、看護師、准看護師で組織された職能団体です。現在約6300人の会員で構成されています。使命として、県民の健康な生活の実現に貢献するため「看護の質の向上」「働き続けられる職場環境づくり」「看護領域の開発・展開」を推進することを掲げております。この3つの柱のもと、県民の皆さんから信頼され、期待される看護職となるよう努めています。

今後は、少子・超高齢・多死社会を迎え、「治す医療」から「治し支える医療」に変化します。当協会としては、地域包括ケアシステムの構築と在宅医療や医療の高度化に対応できる看護職の確保・定着、また質の向上に努めます。さらに、地域活動を推進するために、地域住民への健康支援および看護職のネットワークの推進を図り、病院や地域で暮らす方々に必要な看護を提供することを目指していきます。



県立図書館で“まちの保健室”開催



9月にはエルパで“看護展”開催

かがやく女性45号

今回は31年3月発行です

編集・発行 公益財団法人ふくい女性財団
〒918-8135 福井市下六条町14-1 福井県生活学習館(ユニー・アイ ふくい) 2階
TEL : 0776-41-4254 / FAX : 0776-41-4260
E-mail : fujho-zai@iaa.itkeeper.ne.jp / URL: http://www.f-jhosei.or.jp/

